



主な内容

P2 委員会審議報告

P8 28人が一般質問

P26 行政調査報告

P27 政務調査費って何？

P28 議員辞職 / 意見書 / 編集後記

雲仙市内の日本一・日本初シリーズ第5弾

雲仙ゴルフ場 日本初

わが国で最も古いパブリックコースとして、1913年（大正2年）開場

# 平成19年度一般会計予算 256億6521万6千円

## 歳出 歳入

(主な事業)

(内 訳)

雲仙市「いのち」の相談事業(新規)  
 障害者地域生活支援事業  
 インデペンデンスボードウォーク  
 大会調査費負担金(新規)  
 高齢者障害者交通費助成事業  
 緊急通報装置貸与事業  
 長崎県後期高齢者医療広域連合負担金  
 すこやか子育て支援事業  
 子育てサポートセンター事業(新規)  
 など

**民生費**  
 67億7,719万5千円  
 (26.4%)

男女共同参画計画策定事業  
 文化振興事業(新規)  
 協働のまちづくり事業(新規)  
 市民提案制度事業(新規)  
 土地評価システム導入事業  
 標準宅地鑑定評価業務(新規)  
 定住対策事業(新規)  
 交通計画策定事業  
 小浜地区地籍調査事業  
 国際交流事業(新規)など

**公債費**  
 40億853万7千円  
 (15.6%)

準都市計画基礎調査事業(新規)  
 市道、河川改良及び急傾斜対策事業  
 県営国道道整備事業負担金事業  
 市営住宅火災警報器設置事業(新規)  
 雲仙市わがまち再生事業(新規)  
 神代小路地区街なみ環境整備事業  
 など

**総務費**  
 39億1,965万5千円  
 (15.3%)

雲仙市提案型農業・林業・水産業  
 パワーアップ対策事業(一部新規)  
 元気な地域づくり交付金事業(新規)  
 農道、ほ場整備等農業基盤整備事業  
 強い林業・木材産業づくり交付金事業  
 (新規)  
 農地・水・環境保全向上対策事業(新規)  
 など

**土木費**  
 27億2,762万8千円  
 (10.6%)

雲仙市「いのち」の相談事業(新規)  
 愛野中学校施設耐震補強事業(新規)  
 吾妻愛野学校給食センター改修事業  
 (新規)  
 学校給食事業など

**農林水産業費**  
 26億6,150万8千円  
 (10.4%)

健康雲仙21策定事業(新規)  
 幼児歯科フッ化物塗布事業(新規)  
 など

**教育費**  
 20億5,572万8千円  
 (8.0%)

雲仙市観光交流拠点施設改修事業  
 (新規)  
 雲仙市防災行政無線統合整備事業  
 ほか

**衛生費**  
 17億5,713万6千円  
 (6.8%)

**その他**  
 17億5,782万9千円  
 (6.9%)

国からの交付金

平成19年第1回定例会が3月2日から  
 23日まで22日間の会期で行われました。  
 今議会では平成19年度当初予算など予  
 算案件15件、雲仙市庁舎整備基金条例な  
 ど条例案件22件、雲仙市基本構想などそ  
 の他の案件11件がすべて原案のとおり可  
 決されました。

**地方交付税**  
 97億6,130万7千円  
 (38.0%)

辺地対策事業債 135,100千円  
 過疎対策事業債 511,700千円  
 合併特例事業債 2,278,000千円  
 臨時財政対策債 840,000千円

**市債**  
 37億6,480万円  
 (14.7%)

固定資産税 1,889,924千円  
 市民税 1,291,923千円  
 市たばこ税 272,870千円  
 軽自動車税 116,499千円  
 入湯税 76,049千円

**市税**  
 36億4,726万5千円  
 (14.2%)

県負担金 837,026千円  
 県補助金 1,637,960千円  
 県委託金 212,853千円

**県支出金**  
 26億8,783万9千円  
 (10.5%)

国庫負担金 1,710,997千円  
 国庫補助金 305,146千円  
 国庫委託金 17,023千円

**国庫支出金**  
 20億3,316万6千円  
 (7.9%)

基金繰入金

**繰入金**  
 17億6,495万3千円  
 (6.9%)

使用料及び手数料 320,387千円  
 地方消費税交付金 419,500千円  
 分担金及び負担金 323,994千円  
 地方譲与税 347,700千円

**その他**  
 20億588万6千円  
 (7.8%)

# 平成19年度予算 **こんな事業が実施されます**

福祉

## 福祉タクシー事業

高齢者...2300万円

(70歳以上の高齢者)

障害者...300万円

(身体障害者手帳1～3級・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を有する者)

国際交流

## 韓国・<sup>く</sup>求<sup>れ</sup>郡<sup>ぐん</sup>との交流事業...600万円



・雲仙は日本の国立公園第1号です。求礼郡の智異山(ちりさん)も同じく韓国の国立公園の第1号です。このような共通点をいかした交流をすすめます。

子育て

## 幼稚園にも「第3子保育料補助事業」...総額103万円



これまで保育園児だけに適用されていた「第3子無料制度」を幼稚園児にまで拡大します。

環境

## 下水道の整備事業

瑞穂地区 - 3億4200万円

吾妻地区 - 4億9600万円

千々石地区 - 3億5200万円



教育

## 学校給食事業 ... 1億9400万円

千々石町に建設されていた南部学校給食センターが3月いっぱい完成。新学期より千々石、小浜、南串山各町の小・中学校へ給食が届けられます。これにより、全市域で完全給食が実施されることになりました。

## 総務

本委員会に付託された予算案件2件、条例案件7件、その他案件1件を審議し、全会一致で可決、陳情1件を採択すべきものと決定。

一般職の任期付職員を採用等条例の制定

専門化・高度化する行政ニーズに対応するため、外部の優秀な人材を活用するための条例制定。

振興基金条例の一部改正

総務省より基金の取り崩しや取り崩した資金の活用が認められたことに伴う条例改正。

監査委員条例の全部を改正

監査制度の強化を図るため、監査委員事務局を独立した機関とするための条例改正。



監査委員室

庁舎整備基金条例の制定

庁舎整備資金の一部に充てることを目的に庁舎整備基金条例の制定。

助役定数条例等の一部改正

助役、収入役制度の見直しにより、新たに副市長、会計管理者を置くこととなったための条例改正。

職員勤務時間、休暇等条例の一部改正

国家公務員の休息時間の廃止に伴い、本市においてもも休息時間を廃止するための条例改正。

一般職の職員の給与条例の一部改正

人事院勧告において扶養手当が増額したための条例改正。

基本構想について

雲仙市の将来像、基本方針を示した10力年の基本構想を定めるもの。

質疑 新市建設計画と基本構想を含めた総合計画との違いは。

答弁 財政計画が総合計画には含まれていない。もう一点は市民にわかりやすく説明するため、数値目標を定めている。

平成18年度一般会計補正予算(第8号)関係

分

質疑 土地・家屋台帳システム導入事業とは。

答弁 本庁が狭いため、土地・家屋台帳は各支所で保管していたので、異動処理が支所できなかつた。本庁で処理できることにより、事務の改善が図られる。

質疑 土地・家屋台帳システム導入事業とは。



本庁1階ロビー

平成19年度一般会計予算(関係分)

質疑 市民税の1%の範囲で補助する市民提案制度事業とは。

答弁 事業については審査委員会を設置し決定したい。市民税の1%が提案した事業に使われることにより、市民の納税意欲を高めることも含めた事業である。

【要望】庁舎建設市民懇話会委員については、合併協議会の内容、市の財政状況を十分熟知し、懇話会の趣旨を理解できる委員をお願いしたい。

不正経理問題

外部調査委員会の報告書を踏まえ、防止策を十分検討し、具体化していきたい。市民皆様への信頼回復に向け、二度とこのようなことが起こらないよう全力で取り組む覚悟であるとの報告を受けた。

陳情・意見書

核兵器全面禁止・廃絶国際条約の締結促進を求める意見書採択についての陳情書を採択し、意見書を総理大臣、外務大臣へ提出することを決定した。

# 常任委員会報告

**本委員会に付託された条例案件7件、予算案件7件を審議し、原案可決すべきものと決定。**

**雲仙市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正**

南部学校給食センターの供用開始に伴い、施設の名称と位置を定めるための改正。

南部学校給食センター



**雲仙市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部改正**

市立木指小学校小田山分校の廃校に伴い、地域住民の要望を踏まえ市立公民館に供するための条例改正。

**質疑** 公立公民館と、自治会集会場としての自治公民館との定義は。

**答弁** 社会教育法においては、「公立公民館」、地区の自治公民館は「公民館類似施設」として位置づけられる。

**【要望】**市内の公民館の位置づけについて、均衡を考慮し、今後検討すべきである。

**雲仙市みずほすこやかランド体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正**

**雲仙市みずほすこやかランドふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部改正**

**雲仙市国見総合運動公園（遊学の里くにみ）の設置及び管理に関する条例の一部改正**

以上3件は、市内の類似施設の料金との均衡を保つため、使用料の見直しのための改正。

**雲仙市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例**

市内在住者の施設利用の利便性の明確化と、利用促進のための改正。

**雲仙市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例**

収集業務と運搬業務以外に、処分業務を市長の許可の範囲に規定する条例。

**一般会計補正予算（第8号）関係分**

**質疑** 高齢者交通費助成金（タクシー券）の交付状況は。

**答弁** 合併当初2カ町で実施していたが、市内全域へ利用者が拡大しており、現在70歳以上の利用対象者に対し、約50%の交付率である。

**平成18年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）**

**質疑** 保険税の滞納繰越分の収納が増額で計上されている理由は。

**答弁** 滞納整理班で滞納者の差し押さえや、月末の徴収強化週間に支所職員とも協力し取り組んだ。

**平成19年度一般会計予算（関係分）**

**質疑** 在宅当番医の利便性と病院群輪番制病院事業との関係は。

**答弁** 在宅当番医で処理できないような専門性の高い医療や、高度医療機器が必要な場合に輪番制病院での対応になる。

**質疑** 臨床心理士の資格と職務は。

**答弁** 専門に履修された方を臨床心理士会から紹介を受け、1歳半、3歳児検診時に、言語の遅れや精神面等発育発達の相談等に応じる。

**質疑** 廃棄物収集運搬業務とゴミ収集の方法は。

**答弁** 今後は、収集車を市で保有し業務委託する

方式に統一し、経費の軽減を図る。

**質疑** 新規事業である「いのちの相談事業」の実務と運営は。

**答弁** 教育委員会では、不登校等学校教育に関わるものを、福祉事務所では、虐待、養護拒否、教育拒否の問題に関するものと捉えている。

**【反対意見】**一般会計から国保会計に繰り入れて、少しでも国保税を引き下げる努力が伺えない。

**【賛成意見】**財政状況厳しい中、新規事業を計画し建設的で前向きな予算編成である。

**【採決】**賛成多数で原案を可決。



今日から中学3年生

**平成19年度国民健康保険特別会計予算**

**質疑** 給付と税負担の関係

係の制度上の捉え方は。

**答弁** 平成20年度から医療制度改革で特定検診、特定保健指導が医療保険者に義務付けられる。これまで生活習慣病が起因し医療費が増高してきている現状を踏まえ、医療費を適正化するために必要な改革である。

**【反対意見】**税負担の引き下げの動きが当市にはみられない。

**【賛成意見】**誰もが安心して公的医療を受けられるために必要な予算である。

**【採決】**賛成多数で原案を可決。

**平成19年度老人保健特別会計予算**

**平成19年度と畜場特別会計予算**

**質疑** 今後のと畜場の方向性は。

**答弁** 処理頭数の現状を踏まえ、広く生産者に搬入してもらえような施設を目指すべきと考える。

**平成19年度温泉浴場事業特別会計予算**

## 建設

本委員会に付託された予算案件8件及び条例案件1件を審議し、全会一致で可決すべきものと決定。

雲仙市浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

平成18年度雲仙市一般会計補正予算(第8号)案について(関係分)

**質疑** 公共土木施設災害復旧費の、工法変更による減額とはどういうものか。

**答弁** 当初、法枠工法による工事を予定していたが、国の査定官から、法枠工削減の指摘を受けたため減額となった。

**質疑** 漁港施設管理費の中で、システム開発委託料が計上してあるが、契約は建設整備部で行うのか。

**答弁** 他の部署との関連がある場合は協議をして行うが、建設整備部独自ということ、建設整備

部の監理課で行っている。  
**質疑** 設計委託料の額はどのようにして決めるのか。

**答弁** 県の設計基準単価表を基に積算している。

平成18年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)案について

**質疑** 水質検査手数料の減額は何か。

**答弁** 水質検査の回数減と、入札執行残額である。

**質疑** 水質検査を実施しているということであるが、検査内容は公表しているのか。

**答弁** 上下水道局の窓口において水質検査簿を閲覧できるようにしている。

平成18年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算(第4号)案について

**質疑** 汚泥の処理をどのようにしているのか。

**答弁** 雲仙地区の浄化センター分と千々石浄化センター分が発生しているが、焼却処分を行っている。

平成18年度雲仙市水道事業会計補正予算(第4号)案について

る。

平成19年度雲仙市一般会計予算案について(関係分)

**質疑** 雲仙グリーンロードは農道であるが、道路昇格はできないのか。

**答弁** 県に確認をしたところ、農林業施設で作った施設は、昇格は考えていない。

**質疑** 管理業務委託料はどういうものか。

**答弁** 8漁港の施設を管理している各漁協への管理委託料である。

**質疑** 入札業者の市内営業所は適正な営業所であるか調査を行ったか。

**答弁** 現在、調査継続中である。  
**質疑** 用地総務費の報酬と委託料は、過年度分の未登記土地の分筆と思わ

れるが、過年度分の未登記の筆数と、本年度中の分筆登記の予定数、及び登記処理計画はどうか。

**答弁** 現在8、900筆余りの未登記地を把握しているが非課税となっている。本年度の分筆登記は275筆を予定、未登記地の登記処理計画については、5年を目標に取り組む。

**質疑** 建設整備部の中で、旧町からの継続事業は、平成19年度で、どの程度まで消化できるのか。

**答弁** 本年度で54%消化予定であり、平成23年度終了予定である。

平成19年度雲仙市簡易水道事業特別会計予算案について

**質疑** 国見町の百花台地区における消火栓の設置について要望が出ているが、また、硝酸性窒素の取り扱いについてはどうか。

**答弁** 消火栓設置の要望

が出ており、平成20年度から簡易水道の補助事業を進めるように考えている。また、百花台地区においては現在、給水区域外になっているので、平成19年度で地区の説明会を開催し、加入の推進をしていきたい。

**質疑** 亜硝酸性除去装置関係については、水質の基準数値は10mg/lであるが、愛野・南串山については、原水は13、16の値であるが、上水においては4、7の値まで抑えている。硝酸性窒素の原水の数値は常に変動しているの、随時、調査を行っている。

**質疑** 原水の数値が高いのは何が原因なのか。

**答弁** 原因としては化学肥料、堆肥等が考えられる。また、窒素対策関係では、雲仙市内で各家庭の井戸約150軒の調査を実施したところ、数値が10を超えている家庭があったので、環境政策課より、通知を送付するようになっている。

平成19年度雲仙市下水道事業特別会計予算案について

**質疑** 供用開始されている愛野地区下水道の加入率の状況は。

**答弁** 現在は70%の加入であり、年間約3%の延びの見込みである。

**質疑** 加入推進は。

**答弁** 自治会長会議、また商工会等の会議時に説明し加入推進を行っている。

平成19年度雲仙市簡易水道事業特別会計予算案について

**質疑** 小規模排水の使用料はなぜ減額か。

**答弁** 水道の使用が減ったためである。加入推進は行っているがなかなか伸びないので、今後、水洗化等資金融資制度を促進し推進を図っていきたい。



4月オープンした瑞穂浄化センター

# 常任委員会報告

本委員会に付託された予算案件4件、条例案件4件を審議し、全会一致で可決すべきものと決定。

雲仙市農業委員会農地部会等の委員の定数に関する条例の制定

平成19年4月1日より、知事の権限に属する農地法事務の農地等の権利委譲及び農地転用の許可等事務を雲仙市が受け入れることにつき、同事務を処理するため、法律に基づき農地部会および農政部会を設置し、同部会を構成する委員の定数を制定。

雲仙市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議案第12号により、審査事務の適正化を図るために調査会を設置し、費用弁償として支給するために条例を改正するもの。

議案第25号 雲仙市工場等設置奨励に関する条例の一部を改正する条例

現行の条例では工場等の新設および増設に対する優遇措置事項が少ないため、企業誘致の地域間競争に対応した優良企業の誘致をより一層推進するための条例改正。

質疑 規則等では奨励金の限度額等はどのようになっているか、また限度額は他市との比較でどうか。  
答弁 各市よりさらにインパクトがあるように各項目を設定し、他県とも比較を行って設定した。



委員の現地調査

平成18年度雲仙市一般会計補正予算（第8号）案

長崎県バイオマスの環<sup>わ</sup>づくり交付金事業、長崎県肉用牛規模拡大サポート事業などを計上したものの。

平成19年度雲仙市一般会計予算案

雲仙ブランド推進事業、雲仙市提案型農業・林業・水産業パワーアップ対策事業、農地・水・環境保全向上対策事業、企業誘致事業、雲仙市観光交流拠点施設改修事業、全国棚田サミット開催事業、日韓親善交流事業、観光振興事業補助金、雲仙市わがまち再生事業などを計上したものの。  
質疑 産業まつり補助金が約1千300万円計上してあり、説明では例年通りの方式とのことであるが、7地区をまとめて行う考えはないか。

答弁 昨年末に各実行委員会の代表を集めて平成19年度の方向性について協議を行い、各種意見が出たがもう少し地域に残してほしいとの意見があり、平成19年度はそのままの体制で考えている。

平成18年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算

平成19年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案

以上2議案は関連があるため、同時に集中審議を行った。  
各種質疑、意見、要望があり補正予算に対して以下のような意見を付すこと。当初予算に対して、次のとおり付帯決議を付することを全会一致で決定。

## 産業経済

### 国民宿舎特別会計補正に対する意見

本議案は、本年度決算見込みとして営業収入36,814千円の減額となっており、これに伴い営業費も26,360千円の減額となっている。

しかし、歳入不足を補うため財政調整基金を平成18年度当初予算15,000千円、本議案の補正予算として10,000千円、合計25,000千円が平成18年度に繰り入れられる予算となっている。

本委員会は、これまで国民宿舎望洋荘の運営について危惧し、根本的な改善を進め、収支の改善を図るよう強く要望していたにもかかわらず、営業収入20%強の減収を見込んで、本議案を提案されたことは大変遺憾に思うところである。

市長並びに関係職員の十分な反省と意識の改革を、更に強く求め、尚一層の経営改善に努めることを重ねて強く要望する。

### 国民宿舎特別会計平成19年当初予算に対する付帯決議

- 一 国民宿舎「望洋荘」の位置づけを明確化すること。
- 一 答申を重く受け止め、具体的な改善策を早期に示し実行すること。
- 一 基金からの繰り入れは用途を明確に示し、市民並びに議会へ理解が得られるようにすること。

# 一般質問

## 28議員が登壇



いしだ とくはる  
石田 徳春 議員  
瑞穂町

### 市税の滞納について

**石田議員** 地方自治体の運営の基盤をなすものは、税収入である。各税目ごとの徴収率の引き上げに、どのような努力が払われているのか。税務課に滞納整理班が新設された。その成果は、また市税滞納者に対する滞納処分の執行は。

ている。平成19年度は、職員1名を県に派遣し、育成するとともに、経験豊富な徴収専門嘱託員1名を配置するなど、徴収体制の強化を図る。

**井上市民生活部長** 平成19年2月1日現在、市税滞納額の合計額2億5684万円、このほか、国民健康保険税の滞納額が

**奥村市長** 税の徴収率を上げることは、行政に課せられた命題である。納税者に対し広報誌、防災行政無線等で納期内納付を促している。納税相談にも応じない滞納者には、職員の臨戸徴収の強化を図り、高額な滞納者を対象として、県との連携により滞納の徴収に努めている。滞納整理事務は、滞納整理班を中心に行っ

3億1456万円となっている。徴収率は2月1日現在で、市民税の合計77%、国保税73%となっている。これから5月までの期間、徴収率の向上に向け努力したい。

### 学校給食費の未納対策は

**石田議員** 文部科学省の発表によると、全国の国公、私立の小中学校で給食費未納が、約22億3千万円ある。払えるのに払わない保護者も多いと社会的問題になっている。雲仙市の現状は、南部給食センターの給食費納入方法はどうか。

**鈴山教育長** 未納額は、完全給食に係るものが、合計1511万6167円、弁当に係るもの、合計416万2232円、未納額合計は、1927万8399円となる。2カ月を超えて徴収できなかった分は、督促状を発送し、早期の納入をお願いしている。今後の対策として学校給食会および、

学校給食運営審議会で検討して給食袋の活用を考えている。南部学校給食センター設置に伴う学校給食費については、既存の給食センターと同様の口座振替による徴収方法を予定している。

### 瑞穂斎苑の管理は

**石田議員** 瑞穂斎苑からの再三の修理願いに、なぜ早急な対応ができないのか。今回の一件は職員の職務怠慢ではないか。

**奥村市長** 瑞穂斎苑管理については、行政に対する不信任感を招き心からお詫びする。努力を重ね、信頼回復に努める。

**井上市民生活部長** 事務手続きに手間取り工事の着工が大幅におくれ、心配と迷惑をかけ、心からお詫びする。今後は、保守点検報告や、現場からの業務報告などの内容を確実に受けとめ、的確に維持管理に努める。



まちだ まこと  
町田 誠 議員  
千々石町

### 学校現場での環境問題について

**町田議員** 今世紀末には気温が6・4度上昇し、海面が最大59cm上昇するという予測が示されている。ゴミ焼却時、小型焼却炉から出ると言われている猛毒物質ダイオキシンが児童生徒の健康に悪影響を及ぼす恐れがある。と文部科学省は全国、公立・私立小中学校などに通達し、ゴミ焼却炉を原則として全廃する方針を固めた。子供たちの最も身近な教育現場で起きた今回の問題は、教育環境の最高の教材で、まさに最良の機会である。そこで、ダイオキシンの恐ろしさ、人体に与える悪い影響は、雲仙市の小中学校29校の中で以前使用し

**奥村市長** 市内小中学校の焼却炉の現状について、市内の小中学校でまだ19基が残されているため撤去に費用がかかるので、撤去の方法等、今年度中に十分な調査検討をし、計画的に撤去を行いたい。

**鈴山教育長** 焼却炉の件では環境問題についての質問で、早速各学校の焼却炉を調査し、今後検討して進めたい。環境教育については、再度確認し



瑞穂斎苑



おおくぼ まさみ

大久保正美 議員

吾妻町

## 道路網整備の促進について

**大久保議員** ①愛野小浜バイパスの整備促進について

②地域高規格道路島原道路の整備促進について

③一般国道57号森山拡幅の早期完成について

以上3点、雲仙市の経済浮揚のためにも、近隣市とも協力して、早期着手、完成を強力に推進してもらいたいが、どのように取り組むのか。具体的に伺う。

**奥村市長** 地域高規格道路島原道路の諫早市森山町から雲仙市愛野町間2kmが、平成19年度には調査区間から整備区間へと予定されている。まさに

島原道路（愛野～森山）の事業



雲仙市を中心に、国土交通省所管の大事業が展開されようとしている。したがって、このような状況下で、さらに愛野小浜

バイパス建設の早期採択は極めてハードルが高いことは理解願いたい。しかしながら、島原半島西部の災害対策を含めた交通事情を考慮するならば、愛野小浜間のバイパス的道路整備は重要である。そこで、小浜町山領から千々石町木場までの区間を国道57号の迂回道路として整備するため、平成19年度当初予算に、その調査測量費を計上してい

る。この調査測量に基づき、より具体的にになった計画書等を活用し、国土交通省を始めとする関係省庁への要望活動を強化していきたい。なお島原道路、そしてまた小浜バイパスであるが、まず愛野森山、それから諫早間のバイパス早期改修を、まず最初に念頭において今後活動する。

て足りないことがあれば指導したい。

**町田議員** 平成14年11月18日、アルカス佐世保において、天皇、皇后両陛下の前で涙を浮かべて環境保全を訴えた、南串山の竹下奈希沙さん、当時小学5年生。両陛下がよく朗読されましたね。頑張りましたね。」と、声をかけられ、子供たちもかけがえのない資源の大切さを真剣に考えている。

## 児童生徒の健全育成について

**町田議員** 1月31日、夕方5時30分頃、千々石町

の二級河川敷で何者かによるボヤ騒ぎがあった。発見が早く大火に至らず消し止めた。また3月2日夕方、小倉名の方より電話があり、近くの山で子供の仕業と思われる焚火の後があるとの連絡、警察には連絡済みとのこと。見ると1月に発生した河川敷の事案と類似、前回の教訓が見えない。火事に対する認識、学校、家庭、地域の取り組みは

**鈴山教育長** 警察と保護者等も含めて連携を図りながら十分調査し、確認した上で、こういうことが二度と起こらないよう、指導すべきところはきちん



廃止された小型焼却炉



なかむら いさお

中村 勲 議員

千々石町

### 防災対策特別委員会の設置は

**中村議員** 海岸線の防災対策特別委員会を雲仙市が中心になって国、県および市の担当者で、設置する考えはないか。

市として国、県に対して強く要望活動を行っているので議員がいわゆる委員会を設置する考えはない。

**中村議員** 危険だと思っから提案しているのに設置する考えがないとは、安全安心のまちづくりはできない。

**奥村市長** 委員会はどうかというふうな形が一番いいか少し時間を頂き研究する。

**松田建設整備部長** 雲仙

### 学校給食センターは

**中村議員** 市内4カ所の学校給食センターで働く職員の身分、センターへの納入業者の選定、給食費の徴収方法および未収金の取扱い。

**鈴山教育長** 給食センターの職員の身分は、学校給食会の嘱託職員であり、雇用形態は、市の嘱託職員に準ずる。雇用期間は1年契約であるがおむね3年とした。納入

業者の選定については、県学校給食会より、その他は市内の業者から納品してもらい、新設の南部学校給食センターも既存のセンターと同様に学校給食会から納入するようにしているが、市の商工会を通じて千々石、小浜、南串山の会員に対して募集し、12種類について業者を選定している。

**中村議員** 給食費の徴収方法は。

**鈴山教育長** 口座振替にしているが、不能な時は、再引き落としの処理を、20日を越えて納入がない時は、督促状を発送、それでもだめな時は、学校給食会と学校給食運営協議会で協議し、給食袋での徴収を考えている。

### 記念碑と案内板の建立は

**中村議員** 天正遣欧使節の「千々石ミゲル」の生誕の地を表す記念碑と案内板の建立について市長の考えを問う。

明されない部分が多く更なる調査研究が必要であると思う。

**奥村市長** ローマ法王に謁見した4人のうちの1人であるが史実が十分ではないのでミゲルにまつわる色々な歴史、伝統、伝説を掘り起こしたうえでアピールしていくことも肝要ではないか。

**中村議員** ローマ法王が今年の秋に来崎されると聞いたが、その時4少年の生誕の地を訪れることがあればその前に看板等必要であると思う。観光の目玉として活かしたいと大村市では検討しているそうだが、その前に雲仙市として表示することを検討してほしい。



千々石ミゲル像



まちだ やすのり

町田 康則 議員

小浜町

### 広域ごみ処理施設「県央県南クリーンセンター」について

**町田議員** ごみ処理施設の燃料費が当初1億2000万円だったものが17年度の最終で3億4000万円に、19年度の当初予算では3億9800万円になっていくがランニングコストが高額になった理由は。

**酒井農林水産環境部長** 調査の結果は、基準値より下回っており、現在特に苦情はないと聞いています。

**町田議員** 実際に調整池にごみの山があり悪臭がある。  
**公正取引委員会**は、全国のごみ焼却炉建設工事66件、総額9600億円

**町田議員** 昨年、無料のごみの量が多かった、運転技術が未熟だった等を理由にコストが高くなったと言われたのに、今度は見積もりを見誤っていたとは理由にならない。  
悪臭対策は。



の入札を巡る談合事件でJFEエンジニアリングなど5社に対し独禁法違反と認定し、過去最高の課徴金270億円を請求したが、この県央県南施設でも談合があったのではないかと。

**奥村市長** 副管理者なのでこの答弁する立場にならぬと思う。

## 雲仙市の不正経理問題について

**町田議員** 預けが7450万円、書き換えが1608万円、総額裏金が9058万円で、個人で私的流用した職員(国見町)はパソコン、テレビ、現金など33回にわたり預けから使用し、本当にあきれるばかりである。預け金の返還についてどうなっているのか。

**町田議員** 市長はこれを建設する時いなかったのだから、諫早市長である管理者にもどしどし言える立場だと思う。昨年11月、今年2月、3月にも炉を停止して点検整備しているが修理なのではないか。

**酒井農林水産環境部長** ちよつと長いという話でした。調査をしてみたい。

**金子知充助役** 業者に対して、また我々市長以下三役、職員に対してどれだけのものを返還すべきか弁護士等が入った処分検討委員会を答申を受けて結論を出したい。

**町田議員** どのような再発防止策を掲げてみて、職員が意識を改革しない限り、不正根絶は不可能である。市民は見ている。ぜひ市民が納得するような形で、この不正経理問題に対処してほしい。



いわした まさる

**岩下 勝 議員**

瑞穂町

## 干拓堤防道路の南部取り付けについて

**岩下議員** 取り付け道路の開通に伴う雲仙市を含めた島原半島への経済効果をどのようにとらえているか。

**奥村市長** 生産物流通の効率化や範囲の拡大が図られることや、新たな観光ルートの構築、観光客の増加、新規産業の企業、新たな雇用の創出や地域の活性化が図られ雲仙市の定住促進につながることを想定している。

**岩下議員** 路線検討委員会が設置され、9月に最終路線が決定されたが、地元関係者への理解と協力についての進捗状況はどうなっているのか。

**松田建設整備部長** 県と市が合同にて全力で同意推進を実施している。現在、93%の測量同意を得ている。本事業は多大な経済効果をもたらすものであることから、事業主体である県に協力して同意取得に全力を尽す。

## 有明海の高潮対策について

**岩下議員** 国道251号線の西郷長浜より神代海水浴場間は、台風はもとより、冬の強い北風による消波ブロックに打ち寄せる波が国道いっぱい打ち上がる。対策は。

**松田建設整備部長** 一般国道251号道路災害防除事業、延長0.9kmとしての採択および早期整備の要望活動を県や国に対して実施しているが、採択および事業開始まで至っていないのが現状である。

## 学校給食センターの建設について

**岩下議員** 北部地区学校給食センター建設に伴う規模と予定地は。

**鈴山教育長** 10年間で1658人の児童生徒の減少が見込まれるため、北部給食センターは新築はしない。吾妻、愛野給食センターを改修して対応する。瑞穂給食セン

ターは19年度で閉鎖し、吾妻、愛野センターも27年度で閉鎖して、南部給食センターと国見給食センターで対応していきたい。

## 足腰の強い農林業について

**岩下議員** 吾妻しいたけ生産組合の栽培施設建設事業およびながさき酪農協同組合の集乳施設建設事業に対する支援は。

**奥村市長** 強い林業・木材産業づくり交付金事業国庫補助率50%事業である。集乳施設建設事業について、現在2カ所に設置されている集乳施設及び検査施設を統合し、安全安心な流通を図ることとして、国庫補助率50%事業で、瑞穂町広域農道沿いに計画されている。



瑞穂給食センター



まちだ よしひろ 千々石町

## 町田 義博 議員

### 行政改革の大綱・集中プラン

**町田議員** 合併から一年経過し行政改革大綱が示され、それに基づき改革集中プランが作られるが市長の基本姿勢を問う。



**奥村市長** 行政コスト削減対策は民営化、指定管理者制度導入、職員数の適正化、補助金の整理統合など行いコスト意識に基づく行政を行う。

**町田議員** 改革は市長の強力なリーダーシップと職員一丸となった取り組みが必要である。

### 中長期財政計画

**町田議員** 平成19年度から5年間の中期、32年度

までの長期計画が示されたが、本市の財政規模の適正や市長として計画の考え方を尋ねる。

**奥村市長** 人件費や物件費の削減などで28年度までに類似団体水準まで下げる。財政破綻を起さない範囲で事業は集中と選択に組み込み、総花的にやるものでないと考える。

**町田議員** 行政改革や財政計画は市民に我慢や痛みを伴うものだと思う。市民に分かりやすく説明し、良く理解されるよう、

市長が先頭に立ち、職員と一丸となって説明責任を果され、取り組まれるよう強く要望する。

### 市民提案事業補助制度

**町田議員** 新補助制度として、市民税1%相当で取り組まれるのは良いことだ。事業内容や審査会の具体的内容について尋ねる。

**奥村市長** 県下で初の試

みであり、市民が自主自発的に実施する公益性のある事業への補助制度である。市民で構成する審査委員会で審査する。

### 基幹交通網の整備

**町田議員** 57号森山愛野バイパスが県より示された。これや諫干堤防道路と南西部方面（愛野展望台附近）への道路計画を尋ねる。

**奥村市長** 国県幹線道は早期整備を強く働きかける。幹線網は市道として整備を図りたい。



さかもと ひろし 国見町

## 坂本 弘 議員

### 成人式を顧みて

**坂本議員** 初めて一堂に会し、バスで各地区から成人者や式への参加者を送迎したが、その経費はいくらだったか。式の

経費は昨年と比べてどうであったか。

**鈴山教育長** バスの経費は29万8200円だった。

昨年と比べて総経費は127万円低くなっている。

**坂本議員** 成人式の式典は20分間で終了したが、成人証書の授与もなかった。成人者の意見発表は、多くの方に20歳の決意を発表させるべきである。

**鈴山教育長** 他の市の状況を調べたところ、時間



を30分ほどで設定し、成人証書の授与についても忘れて帰る方もいるというところで実施されていないところが多く、本市でも実施しなかった。今後十分検討する。成人者の意見発表については、来年以後は幅広い方々に発表していただき、成人者主体の充実した内容にしたい。

なぜか。

【鈴木教育長】 式典の時間に限りがあり本年度は来賓祝辞を1人にお願いたが、他の催しについては極力教育委員長の出席も配慮したい。

【坂本議員】 今後も成人式は一会場で行うのか。その場合、雲仙市には収容可能な会場は何力所あるのか。

【鈴木教育長】 新市として一体感を醸成するため

【奥村市長】 幅広い年代層も入ってもらい、これが

にも一カ所開催が望ましいと考える。会場は今のところ南串山八マユリック

スホールの800席収容の一カ所のみである。

## 委員会委員の選任について

【坂本議員】 各種委員会、審議会等、数多くあるが、委員の選任方法はどうか。選考については、自治会長や支所長等の意見を参酌すべきではないか。

【奥村市長】 幅広い年代層も入ってもらい、これが

ら雲仙市の歴史をつくらなければならぬ。そのため、行政に通用した人、これから雲仙市を担って行く世代の人、一緒に審議してもらいたいと思う。

【市田市民福祉部長】 理由があると聞いている。

【奥村市長】 指摘されたことは、きちっと見ていく。

【上田議員】 社協についても裏金問題と同様に厳しい姿勢で臨むべきだ。そうでなければ、補助金も認められない。

【金子助役】 初めて聞く話だが、補助金もあるし、しっかり指導する。

## 新庁舎はみんなで考えよう

【上田議員】 合併協定はその時の事情で変更できる。

市の中長期財政計画は非常に厳しいものだ。吾妻庁舎を中心しながら、(足りない分は)増築で対応するべきと考える。

【奥村市長】 財政計画は厳しい結果だが、合併協定を尊重する。しかし、他の事業との調整が必要なので、庁舎建設市民懇話会を作って意見を聞く。

## 納税組合費着服で停職3カ月は軽すぎる

【上田議員】 着服は泥棒だ。飲酒運転の同乗者も懲戒免職という規程と比べてもバランスを欠くのではないか。

【塩田総務部長】 今回の処分は、公金ではなかった全額返済済み納税組合からも不問に付されている日頃の勤務態度は良好などの理由から決めた。

## その他の質問

- ・乳幼児医療費を「現物給付」に
- ・出産育児一時金受取代理制度



上田 篤 議員  
うえだ あつし  
瑞穂町

## 「公務のための『裏金』は問題ない」という認識こそ大きな問題

【上田議員】 外部調査委員会は「預け」金は業者まかせになる。公金に対する認識が甘い。「公務のためなので非難されない」という間違った認識が存

在する」と厳しく指摘しているが、どう思うか。

【吉田助役】 (内部調査責任者)認識不足を痛感した。職員意識改革、罰則

【上田議員】 せめて県庁並みの責任のとり方をすべきではないか。

【金子助役】 処分検討委員会の指摘に沿って対処する。

【上田議員】 私的流用をしていたというのは本当かなぜ、告訴しないのか。

【塩田総務部長】 懲戒免職処分の前日まで勤務していた。全額返されているので告訴はしない。

## 「社協」は県の厳しい指摘を受けとめよ

【上田議員】 平成16年度、



よした みわこ

瑞穂町

## 吉田美和子 議員

### 男女共同参画社会への取り組みは

**吉田議員** 本市では、男女共同参画懇話会が開かれ新たな取り組みが検討されているようだが、現状をどう認識し、またその取り組み内容は、

**重野企画課長** 平成18年度、8名の懇話会委員により、雲仙市における提言書をまとめてもらった。市内においてはあらゆる分野で男女共同参画を阻害する社会通念、しきたりなどが依然として残っている。まず、アンケートによる意識調査をし、広く意見を聞きたい。

**吉田議員** 各種委員会、審議会への女性の登用はどう考えるか。女性も委

**吉田議員** 県内4市にはすでにある男女共同参画センターの設置を、本市では考えていないのか。

**重野企画課長** 企画課内に機能を持たせ、情報提供、啓発活動等を行いたい。

### 「いのち」の相談事業

**吉田議員** いじめ・不登校などで悩む児童・生徒、保護者の電話相談窓口とのことだが、具体的な説

「ぼくたち、わたしたち、がんばったよ!!」



仙水発表会 (瑞穂町・大正小学校)

明を。

**奥村市長** 教育委員会に「親子ホットライン」、福祉事務所には「家庭ホットライン」を設置し当面は職員が、通常の勤務時間帯で相談に対応する。

相談内容によっては、県の児童相談所、警察等との連携も必要である。

**吉田議員** どちらのホットラインも対応する職員には研修に研修を重ね、取り組んでいかれることを望みたい。



観櫻火宴 (千々石町)

### 学校給食費未納、滞納に対する対策はどうするのか

**前田議員** 学校給食費については、保護者の自発的な入金为前提であるが、その滞納問題が全国的に社会問題化している。本市においても例外ではない状況にあると思われるが、未納、滞納対策はどうするのか。連帯保証人制度など考えられないか。

**鈴山教育長** まずは保護者の納付意識を高める努力をしたい。未納者に対しては、給食袋を保護者へ届け、それでも未納の時は、戸別訪問などで対応していく。連帯保証人制度、法的措置を含め、

まえだ さとし

国見町

## 前田 哲 議員

教育委員会、市、保護者会など関係者が一体となって徴収対策を講じていく。

### 全国規模のイベントが予定されているがその整備対策は

**前田議員** 3年後の平成21年秋、百花台において「全国育樹祭」開催が決定されているが、これに合わせ、百花台公園の横を走る国道389号線未整備区間を県へ要望し早期に完成させられないか。

**奥村市長** 長崎県に確認したところ未整備区間約1・1kmは、平成20年度末に完成と聞いているので「育樹祭」までに完了



なかむら かずあき

南串山町

## 中村 一明 議員

### 移動市長室について

**中村議員** 平成18年度は、各町の地域代表者との開催だったが、本年度の計画はどうなっているのか。

定は。

**奥村市長** 合併協定で確認された方針を基本的に尊重し、よりよい方向性につき検討する。建設は愛野町公民館の位置となっている。

### 庁舎建設について

**中村議員** 庁舎建設のために1億円の積立金を計上され、また庁舎建設市民懇話会の設置もあることだが、そのメンバーや建設時期などの予

**奥村市長** 7町を一巡し毎月1回を目安に開催し参加者の意見を聞いた。今後、小学校区程度で開催を検討していく。

### 下水道処理施設は

**中村議員** 本市全域に下水道事業計画があるとのことだが、測定地域はどこまでか。

**奥村市長** 小浜・雲仙地区、愛野地区は完了。千々石地区19年度。吾妻地区21年度。瑞穂地区26年度完成目標。その他の地区は浄化槽による個別処理を推進している。

### 安心安全 まちづくりについて

**中村議員** 防災無線の7町の進捗状況は。また急傾斜地の崩壊対策、地震対策についてはどうか。

**奥村市長** 防災行政無線の整備を図るべく予算計上している。今後、個別受信機についても市内に順次設置していく。急傾斜地132カ所を調査し、危険区域の指定申請等を実施する予定である。耐震診断は県建築設計事務所協会に委託し、4万5千円（1戸当たり）の内3万円を市より助成する。

**中村議員** 愛野小浜パイパスおよび、山領木場線はどうなるのか。

**奥村市長** 鳥原半島三市でパイパス建設促進期成会を設立し、要望活動をしていく。また調査結果をもとに研究を行っている。

**中村議員** 農業担い手育成、企業誘致については。

**奥村市長** 雲仙市担い手育成総合支援協議会を通して支援を行っている。また工場適地や空き工場等を調査している。

**中村議員** 仁田循環道はどうなるか。

**奥村市長** 観光振興の観点から無料開放を前提に本市へ移管したいとの申し出が県からあり、協議中である。

**中村議員** 給食費未納が社会問題となっているが、義務教育なら無料化はできないのか。

**鈴山教育長** 学校給食法では「学校給食を受ける児童生徒の保護者が負担する」とされているので、給食費は保護者負担が適当であると考えている。

する。その条件整備に努力を重ねていく。



平成2年、天皇陛下がお手植えされたヒノキ

### 物品購入の現状について

**前田議員** 物品購入について、雲仙市となり相当な額を発注しているが、その方法、やり方に各部署、各課によって違いはないか。請求書が届いてから支払いまで何日程要しているか。

**吉田助役** 市の契約規定に基づいてやっているの。部、課によって方法が違つという事はない。請求書が届いてから、10日以内に支払いができる。

よう早く伝票を回すよう指導している。

### 工事発注指名、入札制度について

**前田議員** 19年末現在のAランクに発注された工事入札結果では、市内本店業者が6割、市外業者が4割の落札結果となっているが、この数字を市長はどう思うか。市内本店、市外支店営業所の考え方は、どうなっているのか。

**奥村市長** 市内に本店を置かれている業者に有利になつていないように感じる。

**塩田総務部長** 本店、支店の取り扱いとして、旧町において本店は所在しないが、営業所を本店扱いとしていた業者が、13社あったのでその考え方を踏襲している。



まつお ふみあき 愛野町

## 松尾 文昭 議員

### 庁舎建設について

**松尾議員** 庁舎建設のための基金を造成し、庁舎整備基金造成事業として1億円計上されたが、中期財政計画では、「庁舎建設などの大型事業は財政的に厳しい状況で、平成19年度に『庁舎建設市民懇話会』を設置し、市民の意見を聞いた上で、引続き検討を進める」とあるが、どのような形で話し合いをするのか。懇話会の設置についてはどのような形で設置なのか。公平な立場で会の設置をしてほしい。

**奥村市長** 懇話会のメンバーについてはまだ未定である。どのような形で

やるかも未定であるが、合併特例債期間に遅れをとってはならないと覚悟している。庁舎建設についてみなさんの同意が得られれば検討を進めていきたい。

### 都市計画について

**松尾議員** 雲仙市内の市街地についてどのようなように捉えているか。雲仙市全体的に考えた時、市街地として都心としての都市計画の青写真を作る計画はないのか。

**奥村市長** バランスのとれた雲仙市都市計画区域を見直すことがこれからの雲仙市の発展につながると考え、現在都市計画

に関する基礎調査を行っている。調査結果を踏まえ、市街地を形成する区域、農地や緑地を保存、活用する区域など、都市計画区域の見直しを行い、雲仙市として秩序ある市街地の形成を進めていきたいと考えている。

### 「高規格道路」と愛野前田丸山線の取付と進捗状況は

**松尾議員** 地域高規格道路島原道路との連携を図り、早期完成に向け、平成19年度に工事に着手とあるが、具体的な事業内容と進捗状況は。

**奥村市長** 平成19年度には諫早市森山町から雲仙市愛野町区間の2km区間が調査区間から、整備区間へ指定され、平成19年度から本格的な事業着手される予定である。

### 松田建設整備部長 愛野

前田丸山線新設改良事業の進捗状況は、起点である国道251号から、市道愛野境ノ尾線間延長1000mの用地買収が現在80%近く進捗しており、平成19年度には残りの20%の用地買収を実施するとともに工事も着手する予定である。



愛野前田丸山線予定地

### その他の質問

・男女共同参画基本計画について

・入札制度改革の制限付一般競争入札の導入について

・諫早湾干拓の入植、増反について



いのうえ たけひさ 南串山町

## 井上 武久 議員

### 風力発電と将来のエネルギー確保および観光開発について

**井上議員** 風力発電は地球温暖化対策に大きく貢献するとともにエネルギー自給率も高く、国は新国家エネルギー戦略を打ち出し、導入を進めている。

また、国立公園内に風力発電機が設置できるよう検討も行っている。

将来を見据え、国策に沿って雲仙市の風資源を生かす風力発電機の設置についての市長の考えは。

**井上議員** 風力発電は採算性が高く、売電収入により財政面で大きく貢献している自治体もある。早い時期に市長の決断が必要と思うが。

**奥村市長** 地球温暖化対策として、風力エネルギーは有効な資源であると考え、今後、雲仙市地球温暖化対策実行計画を策定していきたい。

現在、長崎県環境部お

**奥村市長** 設置するためには投資が伴い、調査も必要であり、即答はできかねる。

**井上議員** 風車と観光を



愛野にある風力発電機

リンクさせることにより、視察研修などで交流人口が拡大すると思う。また地産地消による雲仙市ブランド化を確立し、全国へ発信することにより、観光の活性化につながるかと考えるが。

**奥村市長** 風車のある大きな光景は素晴らしい観光地になると思っている。また、交流人口の拡大や雲仙市のイメージアップにつながる観光振興が図られるものかと考える。

**井上議員** チーム・マイナス6%キャンペーンとして、二酸化炭素排出量の削減が国民に求められており、当然雲仙市民も

達成に向け努力しなければならぬ。そのための啓発活動は考えているのか。

また、小・中学生に対する環境教育は実施されるのか。

**奥村市長** エネルギー対策、地球温暖化に対する責任と義務の意識付けの啓発に努力していきたい。

**鈴山教育長** 小・中学校の環境教育指導資料に基本的な考えが示してあり、環境教育については、しっかりと指導していきたい。

## 新年度へ向けての 市民の健康づくりについて



ふかほり よしあき

**深堀 善彰** 議員

国見町

### 住民健診について

**深堀議員** 住民が強く要望する今後の住民健診（集団健診）についての考えは。

住民健診が実現することになる。

**深堀議員** 住民健診の受診率向上についての対策や考えは。

てもらったための啓発活動等を行い、受診率向上を図って行く。

### 人間ドックについて

**深堀議員** 住民が強く要望する人間ドックの健診機関

について、今の雲仙市・南島原市4健診機関以外に健診機関を増やす考えはあるのか。



健診風景

### 施政方針について

次のような質問をおこした。

一、福祉事業について

児童福祉の子育て政策や少子化対策については、新年度具体的な取り組みや意気込みを感じたが、高齢者や障害者への福祉に対する新年度へ向けての具体的な施策や方針は、二、下水道事業について 今後の下水道事業推進に伴う加入率向上への具体的な対策は。

**井上市民生活部長** 市民からも強い要望があつているところから、基本健診とがん検診等を別々に実施する本年度の健診に加え、基本健診とがん検診等を同時にできる総合健診を日曜日と月曜日の2日間各地域で実施するよう計画している。

**井上市民生活部長** 平成18年度は、合併後初年度のことでもあり、受診者への募集周知方法に難点があつたため受診率の低下につながつたのではと反省している。

**井上市民生活部長** 本年度は、地元の4つの医療機関において、人間ドックおよび脳ドックを実施した。平成19年度においては、本年度の受診者等を対象にアンケート調査を実施した結果、最も希望の多かった健康保険課早総合病院を加え、5つの医療機関で実施する予定である。

**深堀議員** 今後も市民の声を十分に把握して、地域医療に協力される地元



もりやま しげいち 国見町

森山 繁一 議員

## 粗大ゴミ収集について

**森山議員** 粗大ゴミ収集

は合併協議会で、「収集は行わない」と調整がなされたが、「粗大ゴミ収集をぜひ行ってほしい」との住民の声が上っている。9月の定例議会でいろいろの問題もあるが、とにかく一生懸命その声に対してお答えできるよ

う努力は前向きにやっていきたい」との答弁にもかかわらず、19年度においても事業の計画がないようである。住民の要望が非常に強いので、ぜひ19年度中に実施してほしい。

**奥村市長** 期待を持たせるようなことを答弁したが、まだ明解な答えを見つけない。

酒井農林水産環境部長

粗大ゴミの内容や、集積場所の管理の困難性等から、北部4町で実施されていた方法での収集については、合併に伴う事務調整において実施しない。民間処理業者周知後の状況を見ながら検討していきたい。

**森山議員** 収集にかかる金額はどのくらいかかるのか、財政的な問題はどうか。

**森山議員** 収集にかかる金額はどのくらいかかるのか、財政的な問題はどうか。

酒井農林水産環境部長

収集金額は4町で16年度900万円、17年度720万円程度であることから、1、400万円程度かかると思われる。

**奥村市長** ごみの種別、ごみの概念をもう少しわかりやすいように皆さん

方にも協力してもらい、周知徹底することによりもう一度、財源から繰り出しも考えられるならばやってみたいと思っている。

**森山議員** 産業廃棄物許可業者の一覧表、ごみの収集の日程表、環境美化の問題もあるので周知徹底をお願いしたい。

**森山議員** 学校施設の耐震について

## 学校施設の耐震について

**森山議員** 学校施設の耐震化等の事業計画と雲仙

市立公立学校の耐震調査の実態は。

市立公立学校の耐震調査の実態は。

**奥村市長** 平成19年度は愛野中学校の校舎2棟、屋内運動場2棟、千々石第2の校舎1棟を予定。

学校施設は児童生徒の学習、生活の場と教育環境として重要、また災害時には地域の人々の応急避難場所としての役割、耐震性能の向上を積極的に図る。

市内の公立学校、施設の耐震状況は学校30校の234棟のうち、昭和56年以前建設された旧耐震基準棟数は161棟、うち耐震診断が必要な棟数は70棟である。耐震診断の結果、補強等が必要な場合、耐震補強工事を行う、多額の事業費を要するため、学校施設耐震化等事業計画書を作成する。事業の財源は国庫補助金の安全、安心な学校づくり交付金や起債を考

**森山議員** 学校施設の耐震化等の事業計画と雲仙



さとう やすひろ 小浜町

佐藤 靖弘 議員

## 耕作放棄地の活用について

**佐藤議員** 農林水産省は、農業に利用されずに放置されている耕作放棄地（遊休農地）の解消に本格的に取り組む。4月から補助金を認定農業者など、一定規模の農家にあわせて、市町村に耕作放棄地の集約化などの地域農業振興策をまとめるよう指示している。雲仙市内の耕作放棄地の利用集積、有効活用等集約化などの地域農業振興策をどう考え、取り組むのか。

**奥村市長** 耕作放棄地に対する地域農業振興策については、平成18年、19年度の2カ年にわたり、実施予定の担い手農地活用情報活動事業で、遊休農地を持つ農家の方々のニーズを把握した上で、規模拡大農家や、認定農業者等に遊休農地をあっせんし、その減少を図っていくこと等地域農業振興策を考え計画している。

**奥村市長** 耕作放棄地に対する地域農業振興策については、平成18年、19

**佐藤議員** 長崎県は「県耕作放棄地解消5カ年計画」実践事業として、「耕作放棄地解消5カ年計画」の策定を求め農地に使うべき土地を要活用農地に指定するとしている。この5カ年計画の詳しい

説明と、雲仙市の計画はどうか。

**奥村市長** 現在、農業委員会で実施している農地流動化奨励事業等の事業調整や、意見調整も踏まえつつ、雲仙市耕作放棄地解消5カ年計画を策定する方向で検討を進めていく。

**佐藤議員** 農地法3条、4条、5条の雲仙市への権限移譲は、

**松本農業委員会会長**

4月以降の農地転用等の許可事務は、すべて市農業委員会で審議決定し、結果を長崎県農業会議へ諮問し、市農業委員長名で許可処分を行う。



耕作放棄地（遊休農地）

**佐藤議員** 今後、耕作放棄地解消対策事業や、権限移譲による取扱い業務が多くなる。人員配置は現在のままか。今後本腰を入れて事業に取り組んでいくのに、人員が少し足りないのではないか。

**金子助役** 全体の中で、どんどん減少せざるを得ない職員の中で、全体計画の配置を協議し、検討をしている。指摘のとおり当然事務が増えることが予想される。増員する方向で、検討している。

**前川議員** 島原半島では、近年、硝酸性窒素による地下水汚染の進行が顕著になり問題視されているが、飲料水を地下水に頼らざるをえない雲仙市としては、良質で安全な飲料水を将来にわたって、市民に供給し続けるために、早急に対策に取り組むべきと思うが。



まえかわ おさむ

**前川 治** 議員

愛野町

## 地下水汚染対策について （硝酸性窒素負荷低減対策）

**前川議員** 島原半島では、

近年、硝酸性窒素による地下水汚染の進行が顕著になり問題視されているが、飲料水を地下水に頼らざるをえない雲仙市としては、良質で安全な飲料水を将来にわたって、市民に供給し続けるために、早急に対策に取り組むべきと思うが。

**今崎上下水道局長** 水道

原水は、硝酸性窒素の数値が一部の地域で高い状況にあるが、家庭に給水している水道水は、水質検査を実施し、基準値内の安全な水を供給している。また、数値の高い地域は窒素除去装置の設置や地域を超えた良好な水資源を求めるなど恒久的な対策を研究していく。

な対策を研究していく。

**酒井農林水産環境部長**

地下水汚染対策として市レベルでの取り組みを推進するために、雲仙市窒素負荷低減対策推進会議を平成18年9月に設置し必要な対策を検討している。

## 道州制議論の 将来を見据えて

**前川議員** 道州制が具体化する

と、九州では福岡を中心とした交流が多くなり、往來の必要性が増してくると考えられる。これらの地域と島原半島を結ぶ基幹交通網整備は大変重要であるが、平成19年度に整備区間指定が予定されている島原道路森山から愛野間2kmの完成時期は。

**松田建設整備部長** 事業

期間は平成19年度から5年間と聞いている。

**前川議員** 道州制が現実味を帯びてくると市町村合併が再燃してくるのではないかと考えられるが、市長は、市町村合併の第2弾の議論があり得ると思うか。また、そうなる

と島原半島を一つに言う構想もまた否定できないことであり、その受け皿となる要件を兼ね備えておくためにも拠点となる新庁舎は必要だと思いが、市長の所見は。

**奥村市長** 道州制が施行された場合、第2弾として市町村合併の議論が出てくると思う。また、合併があると仮定した場合、新庁舎が必要ではないかとのことだが、さらなる合併が必要となった場合、その受け皿として島原半島3市による合併より、大きな枠組みを目指さなければ、自治体として対応できない場合も考えられる。道州制議論やその動向を注視していく必要がある。



あらい まさみつ

千々石町

## 荒木 正光 議員

### 産業振興について

**荒木議員** 食文化の向上により日本国民の食生活も変わり、おいしくて安全な食材食肉が求められる中、一方消費と生産のバランスが崩れないよう国としても生産農家の指導もされている。昭和41年に岡山県で第1回全国共進会が開かれ、今年も鳥取県で開かれる。平成24年には長崎県で第10回大会が開かれると、この中で和牛のオリンピックとも言われている。

会参加者6万人、すでに平戸、諫早、島原、長崎、西海市など誘致活動がされているが雲仙市はどうなっているのか。

**奥村市長** 経済効果も大きく第8回岐阜大会では88億円が推定され、現在本市のほか島原、長崎、

開催準備費8億、経済効果90億と言われている。大



県営バスが廃止となった千々石町床田線

諫早、平戸、西海、雲仙市など11カ所が候補地として上がっており、平成20年に決定されることになっている。市としても、本市開催となるよう最大限の努力を行っていく。

### 道路行政について

**荒木議員** 千々石町曲り坂登坂車線、木津富津線の拡幅要望など調査して報告することになったのだが、

どのようになっているの

か。  
**松田建設整備部長** 19年度に用地交渉が可能となり、事業着手されるよう全力を尽くすつもりである。

木津富津線については、待機所3カ所舗装工事などを予定している。

### 通学路の安全性は

**荒木議員** バス撤退後の床田線については、バス

利用者が少なく、経済効果が悪いのでとの説明があったが、経済効率と教育は別ではないか。

**奥村市長** 経済効果と教育は別である。床田線については道路の整備、外灯など、安全を損わないように、今後経緯を見守りたい。

### 鳥獣対策について

**荒木議員** 島原半島の鳥

**酒井農林水産環境部長** 南島原市とも連携しながら指導していく。

**奥村市長** 多比良の合併に関しては議員より聞き担当に指示した。

**酒井農林水産環境部長** 多比良、土黒、神代、瑞穂の4漁協は平成12年に合併協を設立、多比良漁協は、漁業区が異なり平成16年に脱退。その後、平成17年1月に再度3漁協へ合併加入の要望。平成18年4月3日漁協合併協議会は解散した。平成18



おばた よしとき

国見町

## 小畑 吉時 議員

### 多比良漁協の合併

**小畑議員** 国見3漁協と

瑞穂漁協との合併が進んでいると思っていたので、昨年4月多比良漁協が、有明漁協との合併をした

と聞きびっくりした。市に合併の指導を相談したが、その後、市はどのように対応したか。

平成18年4月3日漁協合併協議会は解散した。平成18

年6月多比良漁協は有明漁協と合併推進協議会を設立。同年12月両漁協は総会を経て平成19年1月合併調印式。4月1日合併予定である。

**小畑議員** 今後の補助金はこのように考えているか。一昨年の町村合併で補助金が1/3に落ち込んだ。水産業協同組合法の関係で大牟田漁協は組合員の減少で解散命令が

出た。県や市で補助金流用が問題視されているときに補助金は出せるのか。

酒井農林水産環境部長

島原市とも関係しているので内容等については、両市で協議していきたい。

## 各総合支所の組織見直しについて

小畑議員 雲仙市行革大網の中に本庁、総合支所組織見直し行政のスリム

金子助役 行革委員会の答申に10年間で職員350人設定。窓口業務主体の支所に向け、市民に身近な対応を考えている。

小畑議員 住民サービスは大事である。何のための合併なのか。各支所に相談ごとが多く、支所

化を図り、本庁の電子システムを改善し窓口業務の充実を図るとなっている。支所を最終的になくすという感じにとれるがどのように対処するのが

業務がなくなれば、本庁まで出向かなければならない。本当の住民サービスとは箱物を作ることでない。今の支所体制を守ってほしい。

奥村市長 時代の潮流の中、痛みを感じ十分に住民に説明し、時代に合った職員数、財政計画、経済情勢等を一つ一つ整理し、納得してもらえよう頑張っていきたい。



国見総合支所窓口

るおそれがある。  
②費用対効果について毎日残業が続くと正規の時間帯に、あたり前の勤務が出来るのか。  
③10年後350人体制を目指す総合計画との整合性はあるのか。10人が月60時間残業すると3人の職員が増加した状態になり、総合計画の人員体制の実現が困難になる。①

数字をもとに、市長の認識の状態と今後の対応について尋ねる。

## 気になる職員の残業状態



増山 良二 議員  
ますやま りょうじ  
小浜町

増山議員 月に60時間以上の残業を続けると、どのような問題が発生するか、気になるところである。

①職員の健康障害や家庭不和は生じないか。このことは本人の申告が出にくいためわかりにくく、気づいた時は手遅れにな

るおそれがある。  
②費用対効果について毎日残業が続くと正規の時間帯に、あたり前の勤務が出来るのか。  
③10年後350人体制を目指す総合計画との整合性はあるのか。10人が月60時間残業すると3人の職員が増加した状態になり、総合計画の人員体制の実現が困難になる。①

数字をもとに、市長の認識の状態と今後の対応について尋ねる。

奥村市長 平成18年度当初は合併後の繁忙期も落ちつくものと予想していたが、旧町からの引き継ぎ事務や調整案件の事務に加え、台風災害関係、新市の策定計画などなどに時間を要している状況である。それでも最近の時間外勤務は昨年の11月

をピークに徐々に減少しており、繁忙期も落ちついてきていると認識している。指摘の点については私も大変心配しているが、22時以降の勤務命令はしない。毎週水曜日のノー残業デーの周知徹底、産業医による職員の健康相談の実施などを行う。  
対策として職員で構成する事務改善委員会において、事務の削減、効率化、職員の適正配置、臨時職員の雇用等を含めて検討し、時間外勤務を少なくするよう指導したいと考えている。

増山議員 7人の職員が

何カ月も残業を続けている総務部財政課の残業状態と、事務改善委員会の構成等について塩田部長に尋ねた。人員配置等について金子助役の意見も聞いた。

労働基準法では公務員に特別の配慮で残業を認めているが、長期に常習的残業は法の許容範囲をこえるものとの前提で質

問した。事務改善については、有用無用の選定などいろんな部門の積み上げ努力が必要で、今後とも注目すべき課題である。

月当残業時間	平成18年11月	平成18年12月	平成19年1月	備考
50時間以上	14課に 44名	3課に 9名	5課に 15名	・左記の中で財政課の7名は毎月50時間以上残業をした。 ・11月は台風災害関係の事務が多かった。
40時間～49時間	13課に 15名	4課に 7名	9課に 13名	
30時間～39時間	16課に 31名	10課に 14名	12課に 21名	
20時間～29時間	36名	30名	28名	
1時間～9時間	137名	146名	135名	
残業勤務者合計	263名	206名	212名	



しんどう かずひろ

瑞穂町

## 進藤 一廣 議員

### 市外から搬入された有臭堆肥は安全か

**進藤議員** 「自然と共存

する地域づくり」を総合計画の基本方針に据え、本市にとっても大切な施策といえるが、

1、市外から搬入され無料で配布されている有臭堆肥の安全性は確認しているか。

2、この有臭堆肥が、地域の水質や自然環境に影響しないか調査等は実施したか、また実施する考えはないか。

**奥村市長** 十分に知りえておらず、指摘があつて調査した。

**酒井農林水産環境部長** 本肥料は肥料取締法に基づいた登録肥料で、重金属分析結果も公表されて

おり、安全性は問題ないものと認識している。

法に基づいた登録肥料なので、市独自の調査は考えていない。ただ、堆肥舎等を利用せず、畑などに野積みそのまま長期間放置された場合、環境問題を引き起こすので適正使用について指導していく。

**進藤議員** この堆肥は長崎市の汚泥を段階的に処理して最終的に堆肥にするというものだが、医療関係の汚泥や人糞も入っているということで、重金属が含まれ堆肥には向かないと聞いたが、長期の使用により土壌汚染を起すのではないか。

**奥村市長** ハンナ会は、長崎を愛し、応援する韓国人の会で、「長崎旅博」



瑞穂町に持ち込まれた有臭堆肥

いては窒素の負荷に対する対策を市でも独自に立ち上げようと考えており、遅効性の肥料の推進とか全体的な働きかけを、関係農家の協力を得ながら進めていきたいと考えており、協力願

**進藤議員** 基本的に水の安全を心配しているので、環境監視委員の方と連携して、安全安心な環境づくりを進めてほしい。

**酒井農林水産環境部長** 法に基づき登録された肥料で、市独自で許可はしていない。また、安価だが有料で配布されている。しかし、地下水につ

### 日韓親善ゴルフ大会の 観光活性化の将来性は

**進藤議員** この国際交流は一過性のものか、本市にとつての経済効果はどれくらいか。

**奥村市長** ハンナ会は、長崎を愛し、応援する韓国人の会で、「長崎旅博」

の折には、韓国芸能団の派遣などに尽力された団体である。今後、ゴルフ大会を契機にして、韓国人観光客の誘客と、リピーターの獲得により、観光の活性化を図りたい。

### 新年度の観光 振興施策は



ふくだ だいとう

小浜町

## 福田 大東 議員

い、新たな観光振興事業の展開を図る。

具体的新規事業は、近年増加している韓国からの観光客の取り込みを図るためハンナ会との日韓交流事業、10月に雲仙で開催されるNHKのど自慢、長崎市と福岡市で実施する雲仙物産フェアとタイアップした観光宣伝事業等を予定している。

### まちづくりに ついて

**福田議員** 国見地区神代小路、雲仙古湯地区の新年度事業計画は。

**奥村市長** 神代小路地区は本年度①土地並びに建物の取得、事業に支障になる建物の解体、住宅の修景にともなう支援。②鍋島邸の老朽化に伴う修理。③旧神代中学校校舎



もとむら やすかず

小浜町

元村 康一 議員

## 庁舎建設について

**元村議員** 今議会に、庁舎整備基金条例の制定と、

補正予算で庁舎整備基金積立金を1億円計上されており、市長の建設の意思は十分に確認できるが、平成27年までの合併特例債の期限内での建設を目指すとの明言はなかった。心配しているもう一つは庁舎の位置である。愛野町に決定をされているが、問題は「地方自治法第4条第3項で議会において、出席議員の3分の2以上の者の同意があれば、現在決定している事務所の位置を改める事ができる」というようになっていることである。このようなことも踏ま

えて考えてみるときに、財政的には、支出全体について思い切った見直しを実施され、合併特例債の有効期限内の建設を目指すべきだと考えるが、  
**奥村市長** 合併特例債の活用なくして庁舎建設は不可能であると認識している。市民の皆様様の率直な御意見をお聞きし、よりよい方向性について引き続き検討を進めていく。  
位置の問題は、合併協議会の決定事項の趣旨を基点として考えている。

## 職員給与の格差解消は

**元村議員** 現在の進捗状況についてはどうか。また、各町の職員の給料で、どこが一番高くて、一番低かったのか。

**塩田総務部長** 労働組合との協議がほぼ終了している。17年度のラスパイルス指数では、南串山町が一番高くて、一番低い数字は瑞穂町である。

**元村議員** 労使双方が歩み寄り早期解決されるよう要望する。

## 雲仙市表彰規則について

**元村議員** 昨年12月3日、平成18年雲仙市表彰授与式が行われ、個人37名と1団体が表彰された。その中に自治会長が1人も入っておられなく、受賞者のほとんどが基準年数が12年であり、自治会長は20年となっていた。20年では該当者は今後も出てこれない可能性が高い。行政面で市民へ対する最前線で御協力、御苦労をいただいている自治会長さんの基準年数を12年に短縮できないか。

**奥村市長** 各種委員の選考基準12年との整合性を考慮し、基準の見直しを検討していく。

跡の改修。雲仙古湯地区は、商店街の活性化を目指し、全国都市再生モデル調査の指定を受け、湯川の整備と散策道の整備、商店街の街並み整備等について調査している。湯川は過去に災害も発生した経緯もあり、市民生活の安全を確保するために年次計画を立て進めたい。

## 県管理の仁田循環道路の委譲について

**奥村市長** 昨年、観光振興の観点から、無料開放を前提に本市へ移管したい旨の申し入れがあつている。観光産業をはじめとする雲仙市への効果と負担の比較検討を行うとともに、県に対し負担の軽減を求め、市道移管に向けて対応する。

**福田議員** 市所有の雲仙パークホテルは、現在もそのままの状態で放置され、台風時には危険と周辺住民は心配している。歓迎看板もそのまま、内部カーテンは汚れ、玄

関には犬猫が寝そべり、景観上も決して好ましくない。施設の安全上早急な対応が必要であるが、どのように対処するのか。

## 指定管理者制度について

**福田議員** 市所有の公的施設169施設のうち昨年度14施設が指定管理者に委託してあるが、残る施設はどのようにするのか。

**奥村市長** 行政改革推進委員会からも、指定管理者制度の積極的導入を図るよう答申を受けている。さらなる導入に向け努力する。



しばた やすのぶ

愛野町

柴田 安宣 議員

### 愛野展望台周辺の上下水道の整備は

**柴田議員** 愛野展望台周辺の上下水道整備など、将来に向け優良な原水の確保を考える時期ではないか。

**今崎上下水道局長** 上下水道は、施設が小口径配管のため水圧が不足している。今後、配水管の整備と地域を越えた水源の確保など、環境の整備を回りたいと考えている。

下水道は、雲仙市下水道事業全体計画に基づき整備していく方針である。

### 新興住宅周辺のごみステーションの対応は

**柴田議員** 新興住宅周辺にごみステーションが設置されていない所があり、近くの自治会は困っている。

どう対応するのか。

**酒井農林水産環境部長** 各自治会関係者と協議し、新設場所の確保や増設などを行いたい。

### 干拓堤防道路の測量同意と今後の見通しは

**柴田議員** 県の事業ではあるが、市長の考えは。

**松田建設整備部長** 県は近いうちに、測量同意者の土地の測量実施に入ると思っている。

### 新庁舎建設について

**柴田議員** 合併協議の中

で仮庁舎は吾妻庁舎とされたが、スペースの余裕もない現状では大至急何とかしなければと考えるが。

**奥村市長** 本庁機能が分散し、事務処理体制や連絡連携体制が非効率になっていることは否めない。また、交通機関が愛野地区で分断され、不便をかけていることも理解している。

### 新庁舎建設に伴う経済性は

**柴田議員** 合併特別債を利用し、職員の働く場の確保と環境をつくることと、管理監督をしつかりやっていけば庁舎建設に関しては経済的にかなうものであると思うが。

**奥村市長** 最大の行政サービスを提供するためには、適材適所の人材配置等による優秀な人材活用と、効率的な組織機構の構築が必要である。合併協議会で協議されたことを原点として進めていきたい。

### 制限付一般競争入札の具体的内容は

**柴田議員** 何で設計額1億円なのか、また制限がどういう形でされるのか。

**塩田総務部長** 工事の種類、施工方法で若干異なるが、一定の競争性を保ちながら、市内業者優先発注を念頭に、まず1億円以上の工事に導入した後、順次対象工事を引き下げていきたい。

### 最低制限価格の取り扱いについて

**柴田議員** 最低制限価格は県と同じ67%と聞いたが、最低価格そのものが県の考え方と違っているのでは。

**塩田総務部長** 最低制限価格は、手抜き工事等の要因となる原価割れの発注を防止し、品質の確保を図るとともに、地元建設業界の健全な発展を期することを目的として制定されている。今後見直しについては検討していきたい。



はらだ ひろふみ

南串山町

原田 洋文 議員

### 農業活性化対策について

**原田議員** 雲仙市の産業の柱は農業である。この農業が活性化し、農家が豊かにならない限り、雲仙市民の幸せ感が出てこないと考える。雲仙市全体の農家数の状況と農家所得の状況をどう認識しているのか。

価格の低迷、さらには原油高などが農家所得に大きく影響し、厳しい状況にあると認識している。

**原田議員** 今年のような厳しい年が続くと専業農家も減少するのではないかと。専業農家の減少は雲仙市農業の衰退とも考えられる。JA等との情報交換はどうしているのか。

**原田議員** 雲仙市の農業が発展して行くためには、

**奥村市長** 農家所得の昨年度の現状については、大変厳しいものと認識している。

**酒井農林水産環境部長** 農家数は減少しているが、規模拡大は進んでいると思う。JA等との情報交換は行っている。

**酒井農林水産環境部長** 露地野菜農家3993戸、施設園芸農家911戸、畜産501戸となっている。ここ数年の気象状況の変化や輸入急増による

**原田議員** 雲仙市の農業

その担い手がどう育って  
いくかが極めて大切であ  
るが、担い手対策の現状  
と、どのように育成して  
いくのが市長の所見は。

**奥村市長** 今後、意欲的  
で旺盛な次代を背負うよ  
うな担い手の輩出を期待  
している。

**酒井農林水産環境部長**  
認定農業者への情報提供、  
組織間の交流等を促進、  
経営改善への研修会等の  
事業を行っている。農業  
パワーアップ対策事業  
など活用し担い手育成  
を図っている。

**原田議員** 農業パワー  
アップ対策事業の成果  
をどう見ているのか。

**酒井農林水産環境部長**  
実施期間2年間で、初年  
度は年度途中からの実施  
で全農家への周知不足も  
あったが、共同機械の導  
入、有機栽培対策で縁肥

作物導入や病害虫防除対  
策等を実施した。環境と  
調和した農業を展開して  
いきたい。

**原田議員** 雲仙ブランド  
確立の現状と経済効果は  
どうか。

**酒井農林水産環境部長**  
認定委員会を組織、認定  
申請された中から審査し  
て認定している。生産団  
体等と連携し雲仙ブラン  
ドの知名度を高め所得の  
向上につなげたい。



**原田議員** 農家の現状を  
よく知り、その目線で農  
業対策に知恵を絞ってほ  
しい。



いわなが もとやす  
**岩永 基和** 議員  
吾妻町

## 山田原畑総事業の 今後の計画について

**岩永議員** 現在では、吾  
妻町における1期地区が  
完成を見たばかりであり、  
2期地区、3期地区の地  
権者の方々も1期地区の  
出きばえを見て、積極的  
な参加意欲が感じられて  
いる。

**山田原畑総の2期地区、  
3期地区の今後の方針と、  
同事業の長期完成に向け  
た推進計画はいつごろに  
なるのか。**

**松田建設部長** 山田原1  
期地区の面工事の完成を  
受け、平成17年7月に2  
期地区のアンケート調査  
を実施、受益者368名  
のうち、回答者138名

で、回答率38%、59名と  
なっている。

今後の事業推進に際し、  
議会の協力を得ながら島  
原振興局とともに、尚一  
層の推進を図っていきたく  
いと考えている。

## 牛口地区公有 水面埋め立て について

**岩永議員** (平成15年度  
に計画が本格化した)山  
田川河川改修整備事業に  
よる家屋移転先の候補地  
となった埋立地内が平成  
17年4月、住宅地として  
埋立計画変更された。そ

の計画が本格化した)山  
田川河川改修整備事業に  
よる家屋移転先の候補地  
となった埋立地内が平成  
17年4月、住宅地として  
埋立計画変更された。そ

の後、竣工認可、字の編  
入と表示登記、保存登記  
と色々な手続きがあるか  
と思う。埋立工事の完了  
に伴う竣工認可と埋立地  
の分譲と早期実現につい  
て、具体的にはいつ頃計  
画されるのか。

**奥村市長** 現在、牛口地  
区埋立地整備工事を発注  
し、道路および住宅地の  
整備を施工中で、さらに  
工事と並行して埋立地の  
竣工認可等作成業務を発  
注する。

まず一つ、公有水面埋  
立法等22条の  
規定により竣  
工認可申請書  
の作成。  
二つ目に、  
申請に必要な  
図面等の作成  
および測量業  
務等、この業  
務が完了次第、  
県に竣工認可  
申請する。  
県において

竣工認可され告示が出さ  
れた後、新たに生じた土  
地として、地方自治法等  
9条の5の規定より議会  
の議決を経て、同法等  
260条の規定により本  
市の字の一部として編入  
する旨、議会の議決を経  
なくてはならない。6月  
議会へ提出し、その後、  
県に届け出、受理および  
告示され、不動産表示登  
記や所有権保在登記、登  
記完了後に用地の分譲が  
開始され、分譲の時期は  
11月頃の予定である。



吾妻町牛口地区公有水面埋立地



おだ たくめい

小田 孝明 議員

国見町

### 雲仙市食肉センター建設について

**小田議員** 畜産物を生産し処理加工して出荷販売を行う地場産業として地域経済に貢献している食肉センターの建設をどう考えているか。

**金子助役** 食肉センターの他にごみ問題等もあるので増員の方向で検討したい。

### 農地転用許可事務の受任について

**奥村市長** 建設に当って補助事業、設置者と運営主体、生産者の出荷状況等の具体的課題について県や各方面との協議、意見交換を進めていく。

**小田議員** 地方分権推進の中で県内の農業委員会の中で、初めて農地法の農地転用の許可権限事務を受任された会長はじめ農業委員に敬意を表する。会長の所信を求める。

**小田議員** 食肉センター関連事業は地域への経済波及効果は大きい。このプロジェクトをしっかりと推進する体制が弱いのではないか。

**前田農委会会長** 県から市に農地法の転用許可権限

### 介護保険について

等が移譲され、市長は農業委員会に許可事務を委任の要請があった。慎重に協議検討し受任を決定した。農業委員は決定責任機関として自己決定、自己責任が求められる。専門的能力や資質の向上に努め、より一層頑張っていく所存である。

**小田議員** 事務量の増、許可に伴う争い等に、人的・財政的にどう考えているか。

**奥村市長** 職員を増員する方向で検討する。財政的には県市町村権限移譲等交付金が措置される。

**松本農委事務局長** 争い等については県の指導や弁護士とも相談し対応したい。

**小田議員** 12月議会で質問した3点はどうなっているか。①市外からのグループホーム入所について、②入所するのに3年間市内に住む条件について、③グループホームの通所介護の定員について

**市田市民福祉部長** ①島原広域圏組合は認めない。②住所を移したら入所を認める市もあるが当介護組合は認めない。今後組合に検討方を提案したい。③居住定員外に3名ということであり見直す。

**小田議員** ①については1名ぐらい入所を認めて市外のグループホームと連携をとるように。②については市民になれば入所できるように。③については早急に結論を。

## 議会運営委員会

平成19年1月29、30日に福岡県前原市議会および太宰府市議会の議会運営について研修した。

インフラ整備が進んだ市で、毎年人口が増加（年間約500人）し、発展している。

### 前原市議会

前原市は、平成4年10月に前原町から市制施行されており、人口6万8千人、面積104km<sup>2</sup>、世帯数2万4千戸、福岡県博多区の中心地から約30分という交通アクセスの

前原市議会には、会派は結成されていない。議会運営委員会は、3つの常任委員会から各2人ずつ選出し、6人で構成されている。

本会議の会期・日程は、本市とほぼ同じであるが、一般質問は「質疑・委員会付託」後に行われている。



当初予算の審議は、全議員による特別委員会を設置して審議が行われている。また、常任委員会の任期は4年となっており、事務局の話では「執行部の職員は、所管の施策を理解するのに

# 一般質問

## 太宰府市議会

3年かかると言われている。執行部と対峙するためには、議員も3年以上同じ委員会に所属することが妥当ではないか」との考えから、4年の任期であるとのことであった。

太宰府市は、人口6万7千人、面積29㎢、世帯数2万7千戸、言わずと知れた古代から今日まで、九州地方の政治・経済・外交の要となっており、我が国文化活動の拠点として発展してきた地域である。

また、福岡空港に近接し、交通網の充実や、大学・専門学校などが数多くあり、恵まれた文教都市と言える。

太宰府市議会の議員数は20人で、7つの会派がある。議会運



太宰府市議会講場

営委員会の構成は、各会派の代表7人、常任委員会委員長3人、計10人で構成されている。この構成では、決定された内容が全議員に周知徹底され、市議会がスムーズに運営されるのではないかと感じられた。また、一般質問通告に質疑時間を記入するよう、申し合わせを行っており、議員の一般質問通告に対する内容の再確認や日程・質問時間の調整に役立っているようである。

## 政務調査費って何？

政務調査費とは、平成12年5月31日に地方自治法の一部改正に基づいて、条例により、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派または議員に対して（本市では議員に対して）、交付されるお金です。

雲仙市議会では、平成18年4月1日より交付されています。

- 交付先** 議員個人
- 交付額** 一人当たり月額15,000円（年額180,000円）
- 交付方法** 年間2回に分けて4月、10月の報酬支払日に交付
- 収支報告** 政務調査費の交付を受けた議員は、領収書その他関係書類を添えて収支報告書を議長に提出。残余分は返還。

### 使途基準

（県内各市の状況）

市名	一人当たり年額
長崎市	1,800,000
佐世保市	600,000
島原市	180,000
諫早市	420,000
大村市	324,000
平戸市	120,000
松浦市	120,000
対馬市	120,000
壱岐市	-
五島市	120,000
西海市	-
南島原市	-

項目	内容	対象となる具体例
研究研修費	議員が研究会もしくは研修会を開催するために要する経費または議員以外の者が開催する研究会もしくは研修会に議員が参加するため要する経費	・研究会、研修会、フォーラム等参加費
調査旅費	議員が調査研究するために行う先進地調査または現地調査に要する経費	・先進地視察、調査の費用
資料作成費	議員が行う調査研究の活動のために必要な資料の作成に要する経費	・資料作成に必要な備品、消耗品購入費（フィルム、コピー用紙、フロッピー文具用品代等）
資料購入費	議員が行う調査研究の活動のために必要な資料の購入に要する経費	・日刊新聞、書籍代等
広報費	議員がその調査研究の活動もしくは市の政策について市民に報告し、または周知するために要する経費	・市議会報告書、市政報告書印刷代 ・ホームページ作成費、更新料等（市議会報告、市政報告）
広聴費	議員が市政に関し市民から要望または意見を聴くための会議、会合等に要する経費	・茶菓子代等
人件費	議員が行う調査研究の活動を補助する者を雇用するために要する経費	・調査研究活動の補助員としての業務内容が明確なアルバイト
事務所費	議員が行う調査研究の活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費	・パソコン等事務機器の消耗品費、補修代
その他の経費	前各項に掲げる経費以外の経費であって、議員が行う調査研究の活動に要するもの	・調査研究活動に要する交通通信費（切手、葉書、郵送料、電話代）

議員辞職



大久保正美議員

平成19年第1回定例会を最後に、大久保正美議員が3月23日をもって辞職されました。

【在職期間】

平成17年11月20日、平成19年3月23日

主な役職

- 建設常任委員会副委員長
- 県中央南広域環境衛生組合議会議員
- 諫早湾干拓堤防南部取付道路路線検討会委員
- 農業振興地域整備促進協議会委員（小委員会）

意見書を提出

核兵器全面禁止・廃絶国際条約の締結促進を求める意見書

一瞬にして多くの命を奪い、広島、長崎の2つの都市を壊滅させた人類史上初の核戦争の惨禍は、原爆投下から61年も経た今もなお生き残った被爆者を放射線障害などで苦しめている。その後の世界各地の核実験による被害は、人類が核兵器と絶対に共存できないことを明確に示している。

人類を核破局から救い、非核・平和の世界を実現するうえで、核兵器の全面禁止・廃絶にかわる代案はない。

しかし、核兵器のない平和で公正な世界を求める諸国民の願いに対して、世界には約2万7千発もの核兵器が配備・貯蔵され、その全体の爆発力は広島型原爆の30数万倍に相当するといわれ、人類の生存を脅かしている。

核保有大国は非核保有国への「先制核使用」さえ公言し、小型核兵器の開発をすすめ、未臨界核実験を繰り返している。これは、北朝鮮の地下核実験強行が示しているように、核軍拡競争の悪循環の原因になっている。

2000年5月、ニューヨークの国連本部で開催された核不拡散条約（NPT）再検討会議は、「核兵器廃絶にむけた核保有国の明確な約束」を初めて盛り込んだ最終文書が核保有国を含む全会一致で採択した。

よって政府は、国連が最初の総会で核兵器廃絶の第1号決議を採択してから60周年にあたり、唯一の被爆国としても早く締結するよう、関係諸国にたいし、格段のご尽力をされることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成19年3月23日

提出先

長崎県雲仙市議会

- 内閣総理大臣 安倍 晋三様
- 外務大臣 麻生 太郎様

編・集・後・記



この議会だよりも早いもので第7号。議会閉会と同時に始まる編集作業に少しは慣れてきた今日この頃です。今回の議会定例会一般質問では過去最高人数となる28名の議員が市政に対する質問を行い、市の発展と将来への問題提起など多岐にわたる質問が行われました。

さて、今までであれば、一般質問を行った議員一人に対して1ページを割り当てていましたが、質問者が多数の場合は今回のように2ページに3人とす

る方針にさせていただきます。今後とも、分かりやすく、読みやすく、読みたくなるような議会だよりを目指して努力していきますのでどうぞよろしくお願ひします。

(H・H)

- 増 山 良三
- 森 藤 繁一
- 佐 尾 文昭
- 吉 田 美和
- 原 田 洋文
- 上 藤 一
- 進 田 廣

お詫びと訂正

前号（第6号）の記事の中で次のような誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

26ページ

- (誤) 地域密着型介護予防
- (正) 地域密着型介護予防

27ページ

- (誤) 各務原（かがみかはら）
- (正) 各務原（かかみがはら）